

# 岩手県学習定着度状況調査から見える花巻市の状況

## ～令和5年度岩手県学習定着度状況調査結果と改善の方向性～(花巻市教育委員会)

令和5年10月4日(水)、小学校5年生(市内661人)、中学校2年生(市内653人)を対象に、国語、算数・数学、英語の教科調査と普段の生活や学習の様子51項目からなる児童生徒質問紙調査等が実施され、12月27日(水)に岩手県教育委員会から結果が公表されました。

**教科調査**については、すべての教科で県を上回ることができなかった前回に続き、今回も小・中学校ともに国語、算数・数学、英語(IBA) **すべての教科で県を下回り**ました。**児童生徒質問紙調査**は、**小5で望ましい回答傾向が激減**し、本年度は**中2でも望ましい回答傾向が減少**しました。

かつて県と同等以上に望ましい回答傾向を示していた児童生徒質問紙調査の課題が顕在化している近年の状況は、小学校の学力低下が進行して現中3以降の中学校の著しい学力低下にも影響している近年の傾向とよく似ています。**児童生徒の学力や意識がここ数年間で忽然と課題が顕在化**してしまったのはなぜなのか、残念ながら要因を特定できる証拠は十分ではありませんが、**考えられる要因については早急に躊躇なく改善に着手することが必要**です。

### 令和5年度 教科調査の結果(小学校5年生、中学校2年生)ー県との比較からー

◆ **県の平均正答率との比較** ※正答率は小数点以下を四捨五入して整数値で表示。英語(IBA)は1,000点満点を100点満点に換算して表示。【単位%】

小学校5年生	国語	算数	中学校2年生	国語	数学	英語(IBA)
花巻市	61	52	花巻市	56	40	65
岩手県	65	55	岩手県	57	45	66

【小学校】 **国語、算数とも県を下回り、国語は県との差が拡大して大きな課題**

県との差は国語-3% (小数点以下四捨五入のため上表の正答率差と不一致)、算数-3%。過去最低を更新した令和4年度前回調査の県との差に比べ国語-2ポイント、算数-1ポイントで、特に国語で県との差が拡大。

【中学校】 **国語、数学、英語とも県を下回り、数学は県との差が拡大して大きな課題**

県との差は国語-1%、数学-5%、英語-1%。令和4年度前回調査の県との差に比べ国語±0ポイント、数学-3ポイント、英語-1ポイントで、特に数学で県との差が拡大。

◆ **平均正答率の経年変化** ※1【別添検証資料1】参照

※1 「令和5年度小4～前7義務教育段階のCRT・県学調・全国学調における花巻市と県・全国の平均正答率との差一覧」

【小学校】 **国語、算数ともに過去最低を大きく更新**

小5はR4小4標準学力検査(以下「CRT」と表記)、R3小3CRTいずれにおいても過去最低を更新した学年であったことから、小学校からの要請に応じて児童講話による学習環境の充実や教員研修による授業改善に取り組んでいますが、これまで積み上げられている課題を解決するには至らず、**国語、算数ともに学力低下が著しい現中2や現小6の当該調査を大きく下回り過去最低を大きく更新**しました。

【中学校】 **数学を中心に過去最低を大きく更新**

中2はR4中1CRT、R4中1新入学生学調、R3小6全国学調等の学力調査いずれにおいても過去最低を更新していたことから、中1段階の悉皆生徒講話や数学・英語Gアップシートを中心に学力向上に取り組んでいますが、数字に表れるまでの効果がなく、特に**数学は現中3の前回調査を大きく下回り過去最低を大きく更新**しました。

◆ 県の平均正答率との差が大きい設問

【小学校】 国語小問 24 問中 19 問、算数 25 問中 24 問で県を下回り、  
 県平均正答率より 5 ポイント以上下回る設問数は次の通り国語 6 問、算数 4 問

- 国語 2 (3) 修飾と被修飾との関係を理解する。  
 平均正答率 花巻市 32.7% 岩手県 39.6% 差 -6.9%
- 2 (7) ア 第 4 学年配当漢字「材料」を正しく書く。  
 平均正答率 花巻市 61.0% 岩手県 66.2% 差 -5.2%
- 3 (3) イ 第 4 学年配当漢字「散(って)」を正しく読む。  
 平均正答率 花巻市 70.2% 岩手県 75.4% 差 -5.2%
- 3 (4) ① 登場人物の心情について、描写を基に捉えて読む。  
 平均正答率 花巻市 68.4% 岩手県 74.0% 差 -5.6%
- 5 ① 段落構成を考えながら指定された長さの文章を書く。問題掲載  
 平均正答率 花巻市 45.9% 岩手県 59.1% 差 -13.2%

【注意する点】

① 一〇一字以上、一八〇字以内で書きましょう。  
 ・二つの段落に分けて書きましょう。

② 一つめの段落には、記事にのせる写真は、アとイのうち、どちらがよいと考えるか、自分の立場を書ききましょう。  
 ・二つめの段落には、その写真がよいと考える理由を書ききましょう。そのとき、【目的】をもとに、その写真をのせることで、どのようなよさがあると考えたのかを書ききましょう。

【記事の案】

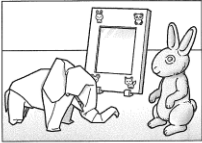
工作クラブ


写真

学期ごとに決めたテーマにそって、一人一人が、好きな作品を作ります。

みんな、いっしょうけんめい制作に取り組んでいます。

【写真の候補】

ア 

イ 

【目的】

各クラブの活動の内容や、活動している様子を、多くの人に知ってもらい、各クラブのよさを伝える。

5 第一小学校では、学校のウェブサイトに、各クラブをしようかいする記事のせることにしました。そこで、工作クラブでは、次のような【目的】にそって、自分たちのクラブの記事を考えています。

- 5 ② 自分の考えとそれを支える理由との関係を明確にして文章を書く。  
 平均正答率 花巻市 50.8% 岩手県 57.3% 差 -6.4%

- 算数 2 (1) 比較量と小数倍から基準量を求めることができる。  
 平均正答率 花巻市 34.9% 岩手県 42.0% 差 -7.1%
- 10 (2) ともなって変わる 2 つの数量の関係を、式に表すことができる。  
 平均正答率 花巻市 42.6% 岩手県 49.0% 差 -6.4%
- 11 (3) 折れ線グラフと棒グラフを読み取り、それを根拠に、示された事柄が正しくない理由を説明することができる。  
 平均正答率 花巻市 37.8% 岩手県 44.1% 差 -6.3%
- 13 (1) 直方体を組み合わせた形の体積の求め方を理解し、その求め方を立式することができる。  
 平均正答率 花巻市 47.7% 岩手県 53.4% 差 -5.7%

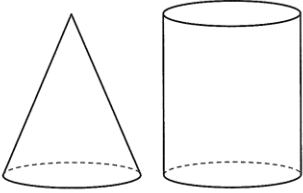
**【中学校】 国語小問25問中16問、数学25問中23問で県を下回り、  
県平均正答率より5ポイント以上下回る設問数は次の通り国語3問、数学11問**

- 国語** ② (5) 文脈に沿って、漢字を適切に使う。  
平均正答率 **花巻市 27.8%** **岩手県 32.9%** 差 -5.1%
- ④ (5) 文章の展開に即して内容を解釈する。  
平均正答率 **花巻市 44.8%** **岩手県 50.0%** 差 -5.2%
- ⑤ 伝えたい事柄を明確にして適切な構成を工夫する。  
平均正答率 **花巻市 38.5%** **岩手県 44.8%** 差 -6.3%
- 数学** ② 自然数を素数の積に表すことができる。 **問題掲載**  
平均正答率 **花巻市 31.1%** **岩手県 39.2%** 差 -8.1%

② 54を素因数分解しなさい。

- ④ 具体的な場面で、1次方程式をつくることができる。  
平均正答率 **花巻市 10.8%** **岩手県 18.1%** 差 -7.3%
- ⑤ (3) 具体的な場面の関係を表す式を、等式の性質を用いて、目的に応じて変形できる。  
平均正答率 **花巻市 27.6%** **岩手県 35.3%** 差 -7.7%
- ⑦ (1) 比例のグラフから式を求めることができる。  
平均正答率 **花巻市 13.7%** **岩手県 19.2%** 差 -5.5%
- ⑨ (2) 与えられたグラフから、ゴールするまでの時間を求める方法について、数学的な表現を用いて説明することができる。  
平均正答率 **花巻市 33.7%** **岩手県 39.5%** 差 -5.8%
- ⑩ (3) 空間における直線と直線のねじれの位置について理解している。  
平均正答率 **花巻市 58.4%** **岩手県 64.7%** 差 -6.3%
- ⑩ (4) 円錐と円柱の体積の関係を理解している。 **問題掲載**  
平均正答率 **花巻市 50.2%** **岩手県 58.6%** 差 -8.4%

(4) 下の図のような、底面の半径の長さえんすいと高さがそれぞれ等しい円錐と円柱があります。このとき、この円錐の体積は、円柱の体積の何倍ですか。正しいものを①～④から1つ選び、その番号を書きなさい。 ⑰



円錐
円柱

①  $\frac{1}{2}$  倍  
 ②  $\frac{1}{3}$  倍  
 ③  $\frac{1}{4}$  倍  
 ④ 半径の長さと高さがわからないので、何倍かはわからない。

12 (2) 多数回の試行の結果から得られる相対度数の意味を理解している。

平均正答率 **花巻市 13.0%** **岩手県 18.2%** 差 **-5.2%**

13 (1) 示されたヒストグラムからデータの傾向を的確に捉え、不適切だと判断した理由を数学的な表現を用いて説明することができる。**問題掲載**

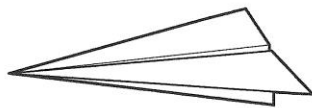
平均正答率 **花巻市 29.5%** **岩手県 36.1%** 差 **-6.6%**

13 (2) 与えられた情報から必要な情報を選択し、割合が高くなる理由を相対度数を用いて説明することができる。**問題掲載**

平均正答率 **花巻市 9.2%** **岩手県 17.8%** 差 **-8.0%**

13 <sup>ゆうき</sup> 優希さんは、文化祭で行われる紙飛行機飛ばし大会に参加することになりました。参加者は自分で作った紙飛行機を体育館の中で飛ばして飛行距離<sup>きょり</sup>を測ります。

優希さんは次の図のような紙飛行機 A, B を作り、何回か練習しました。下の紙飛行機 A, B について調べたことは、それぞれの練習の記録をヒストグラムにまとめたものです。



紙飛行機 A



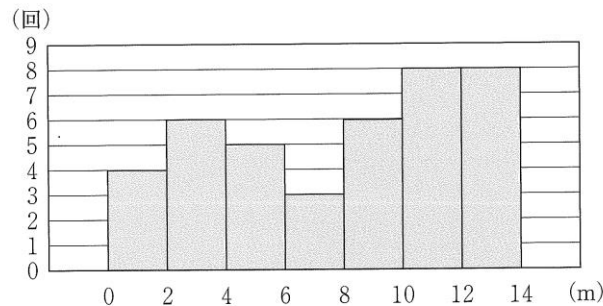
紙飛行機 B

紙飛行機 A, B について調べたこと

紙飛行機 A について調べたこと

- ・飛ばした回数 40 回
- ・飛行距離の平均値 7.8m

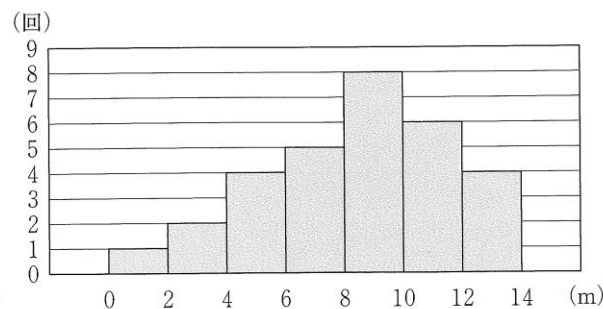
紙飛行機 A の記録



紙飛行機 B について調べたこと

- ・飛ばした回数 30 回
- ・飛行距離の平均値 7.8m

紙飛行機 B の記録



左ページの紙飛行機 A について調べたことヒストグラムから、例えば、飛行距離が 0m 以上 2m 未満だった回数が 4 回あったことがわかります。

このとき、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) 優希さんは「紙飛行機 A の飛行距離の平均値が 7.8m だから、本番でもこの距離が最も出やすいだろう」と言っています。しかし、この考えは適切ではありません。その理由を、前のページの紙飛行機 A について調べたことヒストグラムの特徴をもとに説明しなさい。 ㉔

(2) 優希さんは、紙飛行機飛ばし大会当日に、紙飛行機 A と紙飛行機 B のどちらを使うかを考えています。そこで、紙飛行機 A と紙飛行機 B のヒストグラムから 8m 以上の階級の相対度数の合計をそれぞれ調べて割合を比較することにしました。紙飛行機 A と紙飛行機 B では、どちらの紙飛行機のほうが割合が高かったといえますか。正しいものをア、イの中から 1 つ選び、その記号を書きなさい。また、その記号を選んだ理由をそれぞれの相対度数を小数第 2 位まで求めて説明しなさい。 ㉕

ア 紙飛行機 A

イ 紙飛行機 B

14 (2) 変形した式が、どんな数を表しているかを捉え、その式を数学的に説明することができる。

平均正答率 花巻市 31.6% 岩手県 37.1% 差 -5.5%

## 令和5年度 児童生徒質問紙調査の結果（小学校5年生、中学校2年生）一県との比較から一

### ◆ 児童生徒質問紙調査の全体的な状況

児童生徒質問紙調査については、小・中学校ともに肯定的回答が県を上回る項目の割合が減り、県を下回る項目の割合が増えています。かつては全体的に県と同等以上に望ましい回答傾向を示していましたが、近年は小5で望ましい回答傾向が激減し、本年度は中2も望ましい回答傾向が減少しています。

花巻市小5・中2変容状況		肯定的回答が県を上回る 質問項目の数(割合)	肯定的回答が県と同等の 質問項目数(割合)	肯定的回答が県を下回る 質問項目の数(割合)
小学校5年生	令和5年度 ↑	6 (12%) ↑減	6 (12%) ↑減	37 (76%) ↑増
	令和4年度	7 (14%)	17 (34%)	26 (52%)
中学校2年生	令和5年度 ↑	13 (26%) ↑減	14 (28%) ↑同	23 (46%) ↑増
	令和4年度	28 (56%)	14 (28%)	8 (16%)

### ◆ 「令和5年度花巻市学力向上アクションプラン」指標項目の検証 ※2【別添検証資料2】参照

#### ※2 『令和5年度花巻市学力向上アクションプラン』指標項目と目標値の達成状況

小5、中2にとともに「学習者主体の授業改善」「家庭学習の抜本的改善」に係る指標項目で肯定的回答の低下が顕著です。具体的には、「学習者主体の授業改善」の指標項目「授業中、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思いますか」「あなたは授業の中の振り返る活動で、その時間の学習内容で何が大切だったかが分かったと感じていますか」や「家庭学習の抜本的改善」の指標項目「学校の授業以外で、1日にどれくらいの時間、勉強しますか」「家で、自分で計画を立てて勉強していますか」が課題です。

## (1) 「学級・学年経営の充実」の検証

「学校に行くのは楽しいと思いますか」「自分にはよいところがあると思いますか」「先生やまわりの人は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」「授業や学級活動などで、学級生活をよりよくするために話し合い、互いのよさを生かして解決方法を決めていますか（R 4までの「学級は、お互いに助け合ったり、お互いのよさを認め合ったりできている学級だと思いますか」に代わりR 5新規）」「学級には、授業中の先生からの質問や、教科書の問題の答えなどについて、間違っても認めあえる雰囲気がありますか」5つの指標項目のうち、

### ① 市の目標達成の状況

小学校は2項目で同等、**2項目で下回り**しました。中学校は**2項目で上回り**、1項目で同等、**1項目で下回り**しました。(小・中学校ともに1項目で質問内容が変更されたため評価不能)

### ② 前年度実績値からの変容

小学校は**4項目すべてで上回り**しました。中学校は**2項目で上回り**、1項目で同等、**1項目で下回り**しました。(小・中学校ともに1項目で質問内容が変更されたため評価不能)

### ③ 県の実績値との比較

小学校は**1項目で上回り**、2項目で同等、**2項目で下回り**しました。中学校は3項目で同等、**2項目で下回り**しました。

## (2) 「学習者主体の授業改善」の検証

「授業では、学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」「授業中、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思いますか」「あなたは授業の中の振り返る活動で、その時間の学習内容で何が大切だったかが分かったと感じていますか」「先生は、あなたが授業やテストで分からなかったところや、理解していないところについて、分かるまで教えてください」4つの指標項目のうち、

### ① 市の目標達成の状況

小・中学校ともに**4項目すべてで下回り**しました。

### ② 前年度実績値からの変容

小・中学校ともに**4項目すべてで下回り**しました。

### ③ 県の実績値との比較

小学校は**1項目で上回り**、1項目で同等、**2項目で下回り**しました。中学校は2項目で同等、**2項目で下回り**しました。

## (3) 「家庭学習の抜本的改善」の検証

「学校の授業以外で、1日にどれくらいの時間、勉強しますか」「家で、自分で計画を立てて勉強していますか」「学校の宿題などに加え、弱点を克服する学習に取り組んだり、発展的な問題に取り組んだりしていますか」3つの指標項目のうち、

### ① 市の目標達成の状況

小・中学校ともに**3項目すべてで下回り**しました。

### ② 前年度実績値からの変容

小学校は1項目で同等、**2項目で下回り**しました。中学校は**3項目すべてで下回り**しました。

### ③ 県の実績値との比較

小学校は**3項目すべてで下回り**しました。中学校は**1項目で上回り**、1項目で同等、**1項目で下回り**しました。

◆ 県との差が大きい児童生徒質問紙調査項目

(1) 平日の情報機器利用時間

**質問内容** 「平日にどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンを利用しますか」

**回答傾向** 2時間以上利用していると回答した児童生徒の割合は、**県・市ともに年々増加する傾向にあり**ますが、**小5は前年度から改善し、中2も県を下回っています**。取組の**効果**が表れています。

令和5年度	小学校5年生				中学校2年生			
	花巻市		岩手県		花巻市		岩手県	
4時間以上	12.0	39	12.0	43	14.0	56	15.0	60
3時間以上4時間未満	12.0		13.0		16.0		17.0	
2時間以上3時間未満	15.0		18.0		26.0		28.0	
1時間以上2時間未満	25.0		24.0		27.0		25.0	
1時間未満	22.0		20.0		12.0		11.0	
まったくしない	14.0		13.0		5.0		5.0	

↑

令和4年度	小学校5年生				中学校2年生			
	花巻市		岩手県		花巻市		岩手県	
4時間以上	15.0	49	11.0	43	11.0	53	13.0	56
3時間以上4時間未満	13.0		13.0		17.0		16.0	
2時間以上3時間未満	21.0		19.0		25.0		27.0	
1時間以上2時間未満	21.0		24.0		28.0		26.0	
1時間未満	20.0		21.0		14.0		12.0	
まったくしない	11.0		12.0		4.0		5.0	

↑

令和3年度	小学校5年生				中学校2年生			
	花巻市		岩手県		花巻市		岩手県	
4時間以上	8.0	36	9.0	39	13.0	52	11.0	51
3時間以上4時間未満	11.0		11.0		14.0		15.0	
2時間以上3時間未満	17.0		19.0		25.0		25.0	
1時間以上2時間未満	24.0		26.0		27.0		28.0	
1時間未満	24.0		23.0		15.0		14.0	
まったくしない	16.0		13.0		6.0		6.0	

(2) 平日の家庭学習時間

**質問内容** 「学校の授業以外で、平日、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか」

**回答傾向** 1時間以上勉強していると回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに減少傾向にある中、かつては県を上回っていた小5で激減し、ここ数年増加傾向にあった中2でも減少に転じています。

令和5年度	小学校5年生				中学校2年生			
	花巻市		岩手県		花巻市		岩手県	
3時間以上	6.0	57	6.0	63	2.0	66	3.0	62
2時間以上3時間未満	11.0		13.0		15.0		15.0	
1時間以上2時間未満	40.0		44.0		49.0		44.0	
30分以上1時間未満	33.0		29.0		26.0		26.0	
30分未満	7.0		7.0		6.0		9.0	
まったくしない	3.0		2.0		2.0		4.0	

↑

令和4年度	小学校5年生				中学校2年生			
	花巻市		岩手県		花巻市		岩手県	
3時間以上	6.0	69	6.0	67	3.0	69	4.0	66
2時間以上3時間未満	14.0		14.0		16.0		16.0	
1時間以上2時間未満	49.0		47.0		50.0		46.0	
30分以上1時間未満	25.0		27.0		23.0		24.0	
30分未満	5.0		5.0		6.0		7.0	
まったくしない	1.0		1.0		2.0		3.0	

↑

令和3年度	小学校5年生				中学校2年生			
	花巻市		岩手県		花巻市		岩手県	
3時間以上	5.0	76	6.0	69	3.0	60	3.0	68
2時間以上3時間未満	17.0		14.0		13.0		17.0	
1時間以上2時間未満	54.0		49.0		54.0		48.0	
30分以上1時間未満	19.0		24.0		22.0		24.0	
30分未満	4.0		5.0		6.0		6.0	
まったくしない	1.0		1.0		2.0		2.0	



(3) その他、県との差が大きい項目

① 自主学習の取組

**質問内容** 「学校の宿題だけでなく、自主学習に取り組んでいますか」

**回答傾向** 強い肯定的回答の割合は、小5で県を大きく下回り課題です。

令和5年度	小学校5年生		中学校2年生	
	花巻市	岩手県	花巻市	岩手県
当てはまる	24.0	31.0	18.0	20.0
どちらかといえば↑	30.0	29.0	34.0	33.0
どちらかといえば↓	24.0	22.0	28.0	26.0
当てはまらない	22.0	19.0	20.0	21.0

② 国語の学習

**質問内容** 「国語の勉強は好きですか」「国語の授業の内容はよく分かりますか」

**回答傾向** 肯定的回答は、中2で望ましい状況です。

● 「国語の勉強は好きですか」

令和5年度	小学校5年生		中学校2年生	
	花巻市	岩手県	花巻市	岩手県
好き	30.0	27.0	28.0	27.0
どちらかといえば↑	36.0	37.0	47.0	42.0
どちらかといえば↓	19.0	22.0	16.0	22.0
好きではない	15.0	14.0	9.0	9.0

● 「国語の授業の内容はよく分かりますか」

令和5年度	小学校5年生		中学校2年生	
	花巻市	岩手県	花巻市	岩手県
よく分かる	43.0	42.0	39.0	35.0
どちらかといえば↑	43.0	46.0	53.0	52.0
どちらかといえば↓	9.0	9.0	6.0	9.0
分からない	5.0	3.0	2.0	3.0

③ 調査問題への取組

**質問内容** 「今回の国語の最後の問題は、解答を文章で書く問題でした。その問題について、どのように解答しましたか」

**回答傾向** 「解答しようと努力した」の割合は、小5、中2ともに県を大きく下回り課題です。

令和5年度	小学校5年生		中学校2年生	
	花巻市	岩手県	花巻市	岩手県
解答しようと努力した	76.0	83.0	64.0	70.0
途中であきらめた	16.0	12.0	19.0	15.0
全く解答しなかった	8.0	5.0	16.0	14.0

**質問内容** 「今回の算数・数学の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。その問題について、どのように解答しましたか」

**回答傾向** 「解答しようと努力した」の割合は、小5、中2ともに県を大きく下回り課題です。

令和5年度	小学校5年生		中学校2年生	
	花巻市	岩手県	花巻市	岩手県
解答しようと努力した	68.0	74.0	42.0	50.0
途中であきらめた	28.0	24.0	47.0	40.0
全く解答しなかった	4.0	2.0	11.0	10.0

④ 理科の学習

**質問内容** 「理科の勉強は好きですか」等、前回までの3項目に、「理科の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できるか考えますか」等、新たに3項目を加え、全6項目

**回答傾向** これまでほとんど課題になることがなかった**理科の学習に関わる項目で、小5、中2ともに肯定的回答の割合が県を大きく下回り課題**です。

● 「理科の勉強は好きですか」

令和5年度	小学校5年生		中学校2年生	
	花巻市	岩手県	花巻市	岩手県
好き	46.0	51.0	32.0	37.0
どちらかといえば↑	31.0	30.0	40.0	37.0
どちらかといえば↓	13.0	11.0	19.0	17.0
好きではない	9.0	8.0	10.0	8.0

● 「理科の授業の内容は分かりますか」

令和5年度	小学校5年生		中学校2年生	
	花巻市	岩手県	花巻市	岩手県
よく分かる	57.0	58.0	31.0	36.0
どちらかといえば↑	33.0	34.0	44.0	43.0
どちらかといえば↓	6.0	6.0	20.0	16.0
分からない	4.0	2.0	5.0	6.0

● 「理科の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できるか考えますか」

令和5年度	小学校5年生		中学校2年生	
	花巻市	岩手県	花巻市	岩手県
当てはまる	43.0	48.0	28.0	30.0
どちらかといえば↑	36.0	34.0	34.0	37.0
どちらかといえば↓	13.0	12.0	26.0	23.0
当てはまらない	8.0	6.0	14.0	11.0

● 「理科の授業では、自分の予想をもとに、観察や実験の計画を立てていますか」(R5新規)

令和5年度	小学校5年生		中学校2年生	
	花巻市	岩手県	花巻市	岩手県
当てはまる	43.0	48.0	30.0	35.0
どちらかといえば↑	41.0	37.0	42.0	42.0
どちらかといえば↓	11.0	11.0	21.0	17.0
当てはまらない	5.0	4.0	7.0	6.0

● 「理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか」(R5新規)

令和5年度	小学校5年生		中学校2年生	
	花巻市	岩手県	花巻市	岩手県
当てはまる	45.0	50.0	38.0	46.0
どちらかといえば↑	39.0	36.0	43.0	40.0
どちらかといえば↓	11.0	10.0	14.0	11.0
当てはまらない	5.0	4.0	5.0	4.0

● 「理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか」(R5新規)

令和5年度	小学校5年生		中学校2年生	
	花巻市	岩手県	花巻市	岩手県
当てはまる	41.0	41.0	35.0	38.0
どちらかといえば↑	39.0	40.0	39.0	41.0
どちらかといえば↓	13.0	14.0	19.0	16.0
当てはまらない	7.0	5.0	7.0	6.0

⑤ 外国語・英語の課題

**質問内容** 「外国語・英語の勉強は好きですか」「外国語・英語の授業の内容はよく分かりますか」

**回答傾向** 小5は毎年課題になる項目ですが、今回も改善されず課題です。

● 「外国語・英語の勉強は好きですか」

令和5年度	小学校5年生		中学校2年生	
	花巻市	岩手県	花巻市	岩手県
好き	34.0	45.0	23.0	25.0
どちらかといえば↑	33.0	29.0	33.0	31.0
どちらかといえば↓	16.0	15.0	28.0	26.0
好きではない	17.0	11.0	16.0	18.0

● 「外国語・英語の授業の内容はよく分かりますか」

令和5年度	小学校5年生		中学校2年生	
	花巻市	岩手県	花巻市	岩手県
よく分かる	41.0	47.0	26.0	27.0
どちらかといえば↑	34.0	35.0	43.0	39.0
どちらかといえば↓	17.0	13.0	21.0	22.0
分からない	8.0	6.0	11.0	11.0

令和5年度から令和6年度に向けた学力向上に係る方向性と具体策

◆ 学力低迷の要因と学力向上の方向性

かつて県と同等以上に望ましい回答傾向を示していた児童生徒質問紙調査の課題が顕在化している近年の状況は、小学校の学力低下が進行して現中3以降の中学校の著しい学力低下にも影響している近年の傾向とよく似ています。児童生徒の学力や意識はここ数年間で忽然と課題が顕在化してしまったのはなぜなのか、残念ながら要因を特定できる証拠は十分ではありませんが、考えられる要因については早急に躊躇なく改善に着手することが必要です。

特に小5は、『令和5年度花巻市学力向上アクションプラン』指標項目の検証』で取り上げた「学習者主体の授業改善」に係る「授業中、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思いますか」「あなたは授業の中の振り返る活動で、その時間の学習内容で何が大切だったかが分かったと感じていますか」、「家庭学習の抜本的改善」に係る「学校の授業以外で、1日にどれくらいの時間、勉強しますか」「家で、自分で計画を立てて勉強していますか」は過去最低を大きく更新し、「県との差が大きい児童生徒質問紙調査項目」で取り上げた「自主学習の取組」に係る「学校の宿題だけでなく、自主学習に取り組んでいますか」も県を大きく下回っています。これらは**学びに立ち向かう意欲が弱く学力低迷の大きな要因**になっていると考えられます。

また、「県との差が大きい児童生徒質問紙調査項目」で取り上げた「調査問題への取組」に係る「解答しようと努力した」は小5、中2ともに課題があり、**幼少期から育まれる非認知スキルと関わる学力低迷の要因**と考えられます。

改めて、学力の現状、学力低迷の要因、学力向上の対策等を端的に「Q&A」にまとめ、児童生徒、保護者や地域の皆様、教職員、教育行政それぞれの立場から花巻の教育の課題解決に向けて動き出すようお願いをいたします。

◆ 令和5年度から令和6年度に向けた学力向上の具体策

**Q 1 花巻の子どもたちの学力の現状はどうなっていますか。**

A 1 花巻市ホームページで公表しているとおり、全国、県に比べてここ数年低下し続けています。

**Q 2 花巻の子どもたちの学力や意識の低下の要因をどう考えていますか。**

A 2 現時点で児童生徒の学力や意識の低下を裏付ける要因を特定できる証拠はありませんが、

- ① 情報機器の普及、便利な生活様式等、社会や家庭の変化が子どもの生活や学習に影響？
- ② 少子化で高校の定員割れが多くなり、子どもの学ぶ目的意識や保護者の進学ニーズに影響？
- ③ 我慢する、頑張る、挑戦する等、価値観の多様化が学び方、生き方、育て方等に影響？
- ④ 変容した子どもの実態にマッチしなくなった学校の教育活動や行政の教育施策の影響？等が考えられます。

**Q 3 改善に向けてどのように取り組んでいますか。**

A 3 ① 児童生徒講話、保護者講演等で学ぶ目的意識、学び方、家庭生活等のマイナス要因の排除

- ② 家庭学習教材Gアップシートを提供し、やるべきことの明確化と数学・英語の基礎基本の定着
- ③ 子どもの変化に対応する教員の授業改善の講義・研修や学校の教育活動の充実に向けた学校訪問指導
- ④ 課題解決の方策を共有するため、花巻市ホームページに情報掲載、各種会議・講演等で情報提供等を行っています。

**Q 4 改善に向けた取組をさらに効果的に進めるにはどうすればよいですか。**

A 4 ① 子どもを取り巻く大人の情報共有⇒意識改革⇒行動変容が子どもの学習、生活に影響

- ② 具体的には、乳幼児期、学童前期の発達段階に応じた非認知スキル習得の子育て・関り方  
①②については、児童生徒講話や保護者講演のうち、**就学前後の子育て中の保護者対象講演等の取組強化**
- ③ さらに学校教育では、教職員の意識高揚と授業改善、推進するための適宜適切なリーダーシップ
- ④ 改善に向けた取組の全体的具体的フットワーク  
③④については、**教員対象講義演習の他、課題解決を目指す教員対象個別研修の取組強化**